



福井コンピュータホールディングス株式会社

第3期 中期経営計画

FY2025 - FY2027

建設業の思いを創る。

INNOVATION for ALL.

社会を支える建設業が、そこに従事するすべての人が、力強く未来へと歩んでいけるように。
福井コンピュータグループは、ICTの技術を活用して創造と革新を積み重ねることで、
より豊かな未来の実現に貢献してまいります。

- はじめに
- 基本方針と将来像
- 重点施策
- 人的資本の成長戦略
- 定量目標
- キャピタルアロケーション

中期経営計画期間について



これまで当社グループがCAD事業の経営基盤を築いてきたFY2018までを第1創業期、FY2019以降を第2創業期と考えております。

FY2019～FY2021を第1中期経営計画期間、FY2022～2024を第2期中期経営計画期間とし、FY2025～2027までの本中期経営計画期間を第3期としております。

前中期経営計画期間の振り返り

- 前期間のFY2022～2024では、IT導入補助金の縮小等の外部環境の変化に対応できず、当初設定した定量目標を達成できておりません。

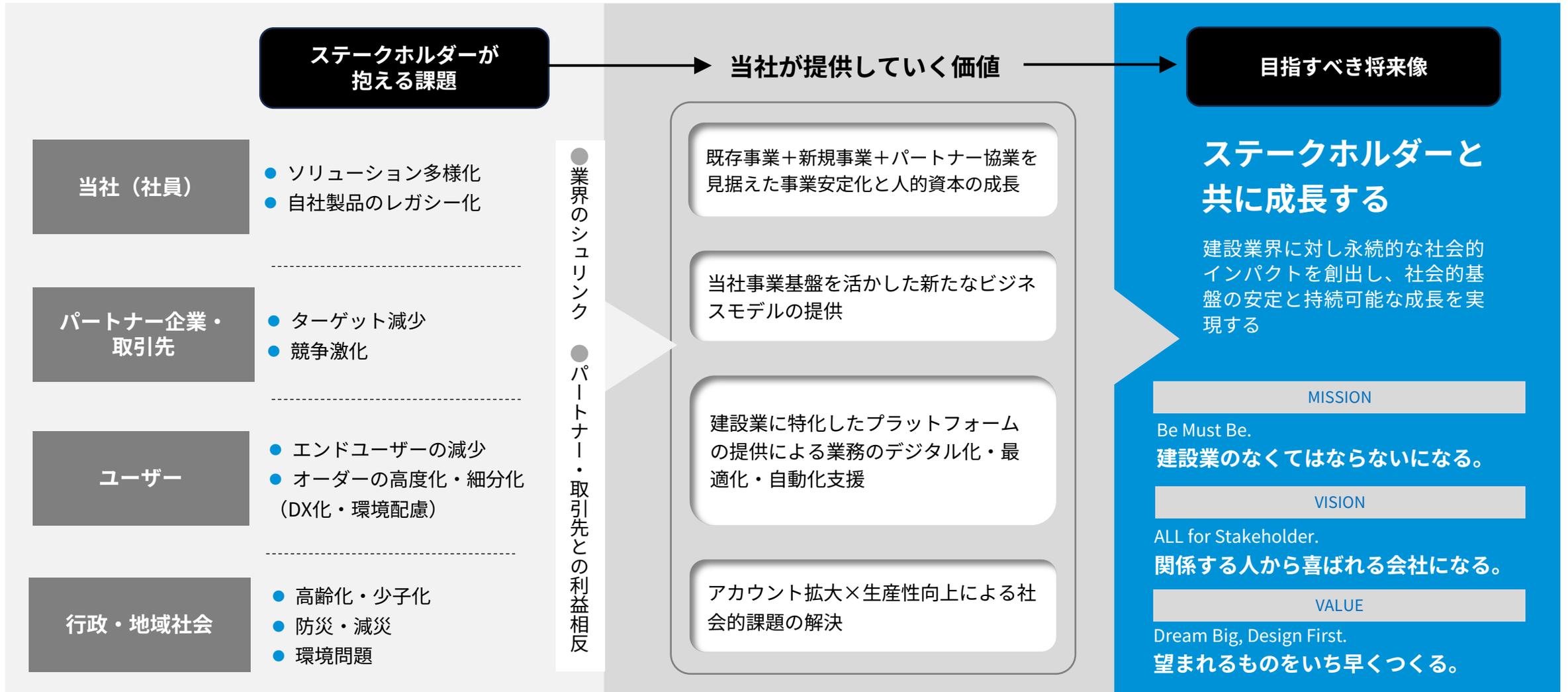


- 本期間ではその反省を踏まえ、外部環境の分析、当社が提供できる価値、ステークホルダーとの関係性をゼロから見直した上で、外部環境を捉えた基本方針や当社の目指すべき将来像を定めております。
- 実現に向けた重点施策や、基盤となる人的資本や成長事業への投資に注力することで、構造変化が求められている建設業界全体に向けて、ステークホルダーと共に、継続的なインパクトを創出し、安定的な成長を実現してまいります。

中期経営計画の基本方針

全てのステークホルダーとの価値観（問題意識）を共有し、
新たに・真に求められる価値を提供しながら共存共栄を目指します。
そのためにビジネスモデルの変革と、組織再編に取り組みます。

ステークホルダーと共に行う建設業界への価値提供



イノベーションにより目指す成長のイメージ

1 コアビジネスの成長 (ARCHITREND ONE等)

- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

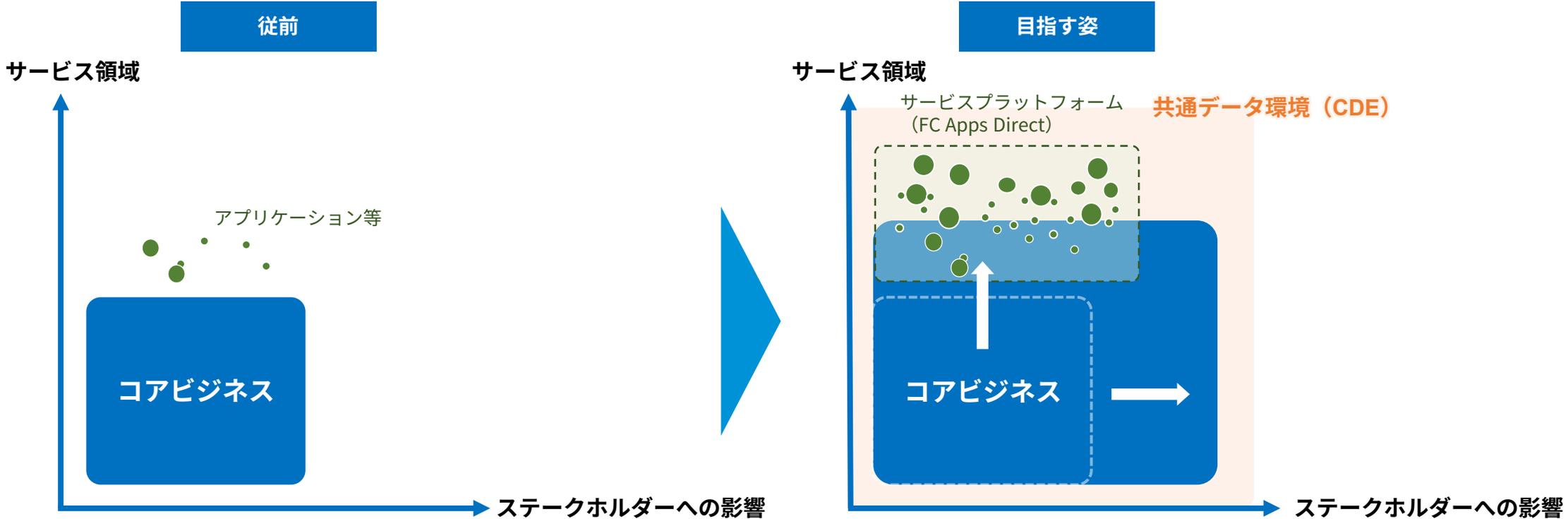
2 新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション (社外のソリューションを含む) を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

3 共通データ環境 (CDE) の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境 (CDE) の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う

CDE : Common Data Environment



イノベーションにより目指す建設業全般を包括したサービス提供

1 コアビジネスの成長 (ARCHITREND ONE等)

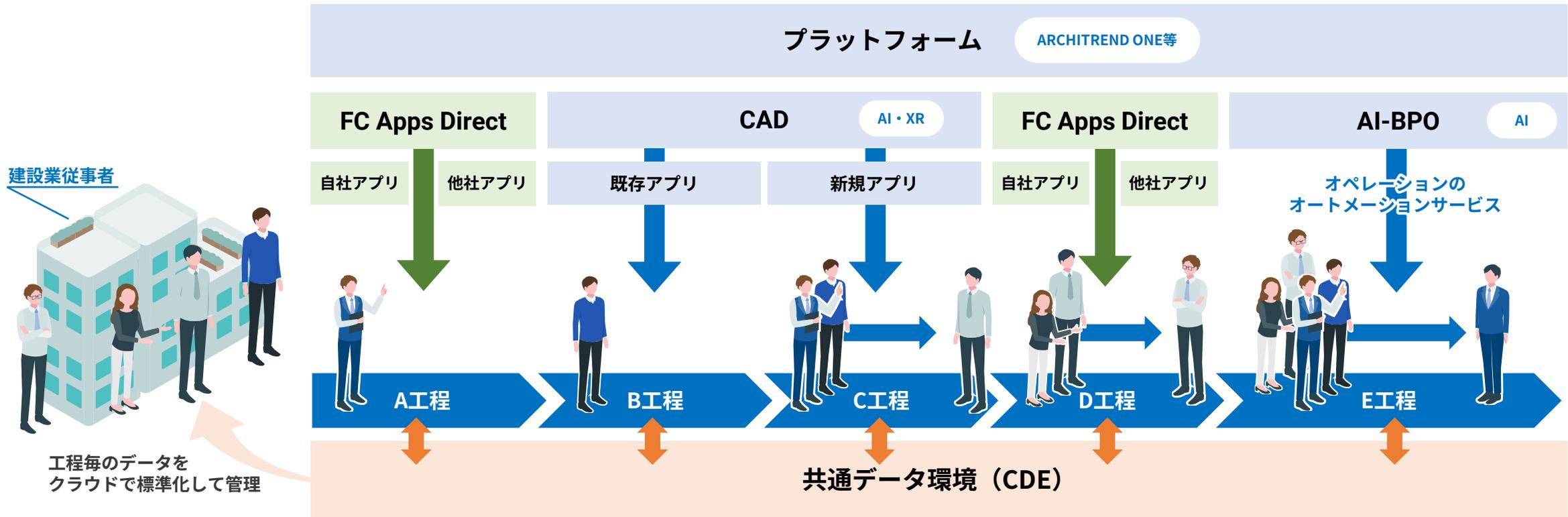
- CADの漸進的成長、新たな機能の追加
- プラットフォーム機能による顧客基盤の拡大
- アプリケーションのみでは効率化が難しい課題に対して、AIを活用したBPOサービスの提供

2 新たなビジネスモデル (FC Apps Direct) の展開

- アプリケーション (社外のソリューションを含む) を新たなサービスプラットフォームにより提供
- 当社顧客のニーズに対し、最適化・自動化してプラットフォーム上でのクロスセルを行い、アカウント拡大・ARPA拡大を目指す

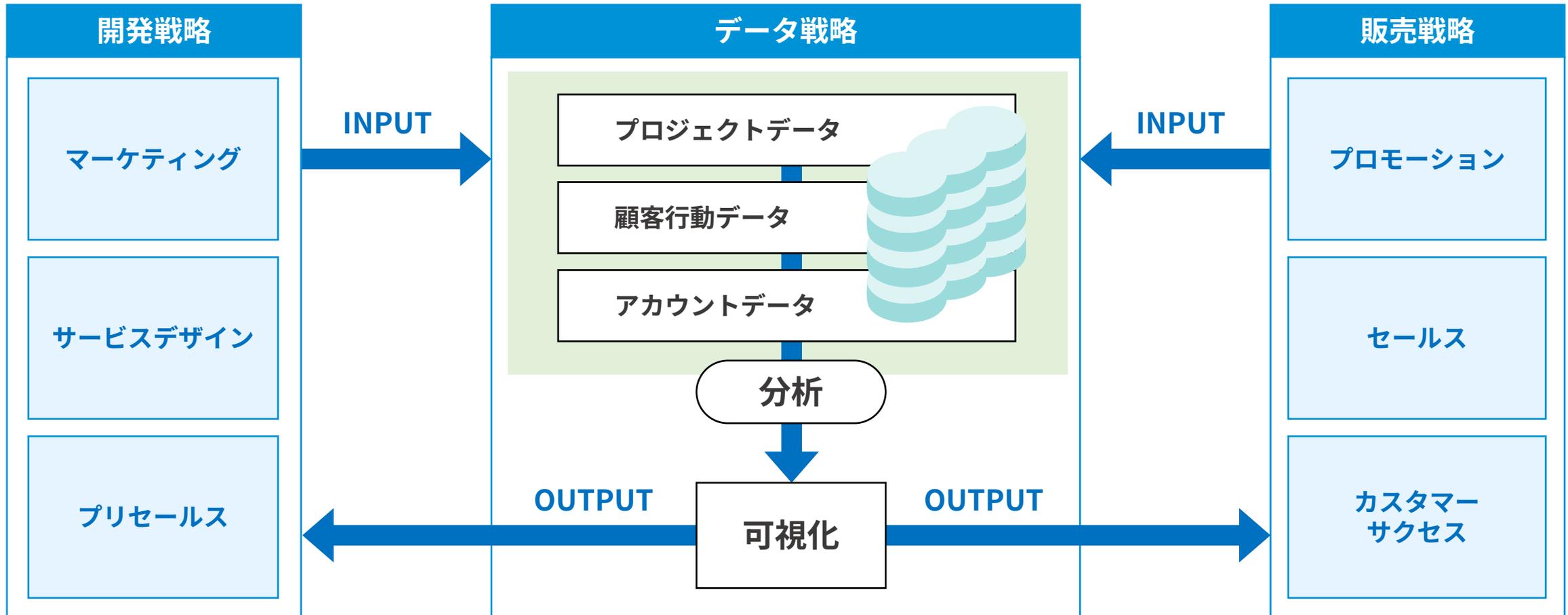
3 共通データ環境 (CDE) の構築

- プロジェクトデータ等にかかわる共通データ環境 (CDE) の構築を推進
- データを一元管理することで、総合的な省力化・省人化の支援を行う

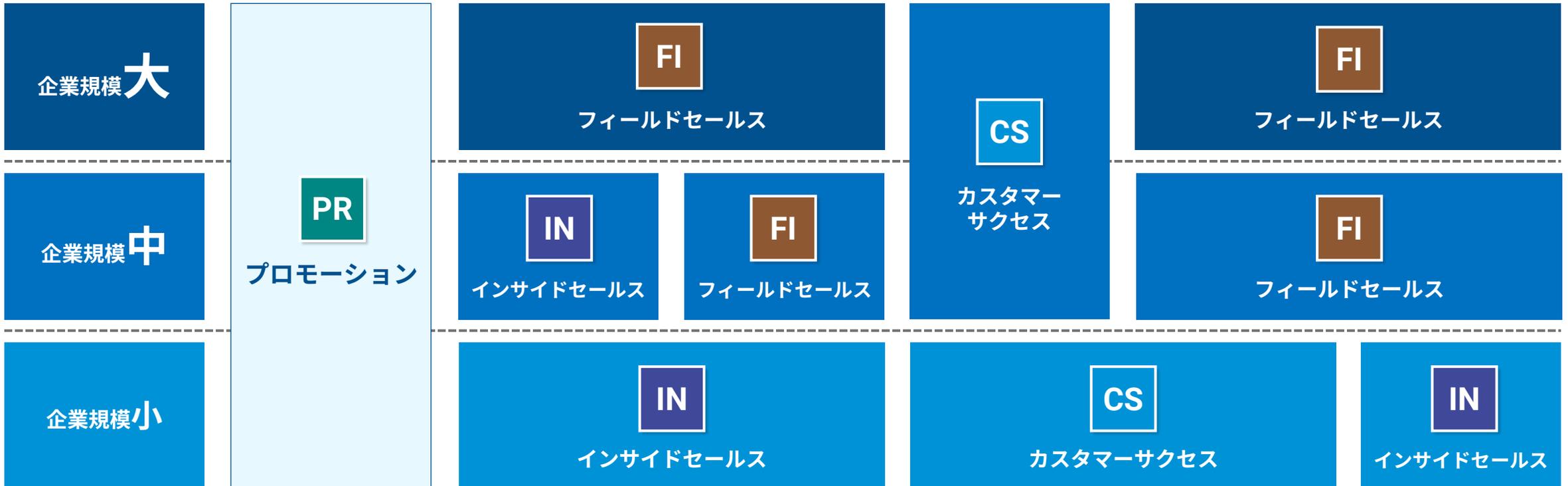


データドリブン経営の推進

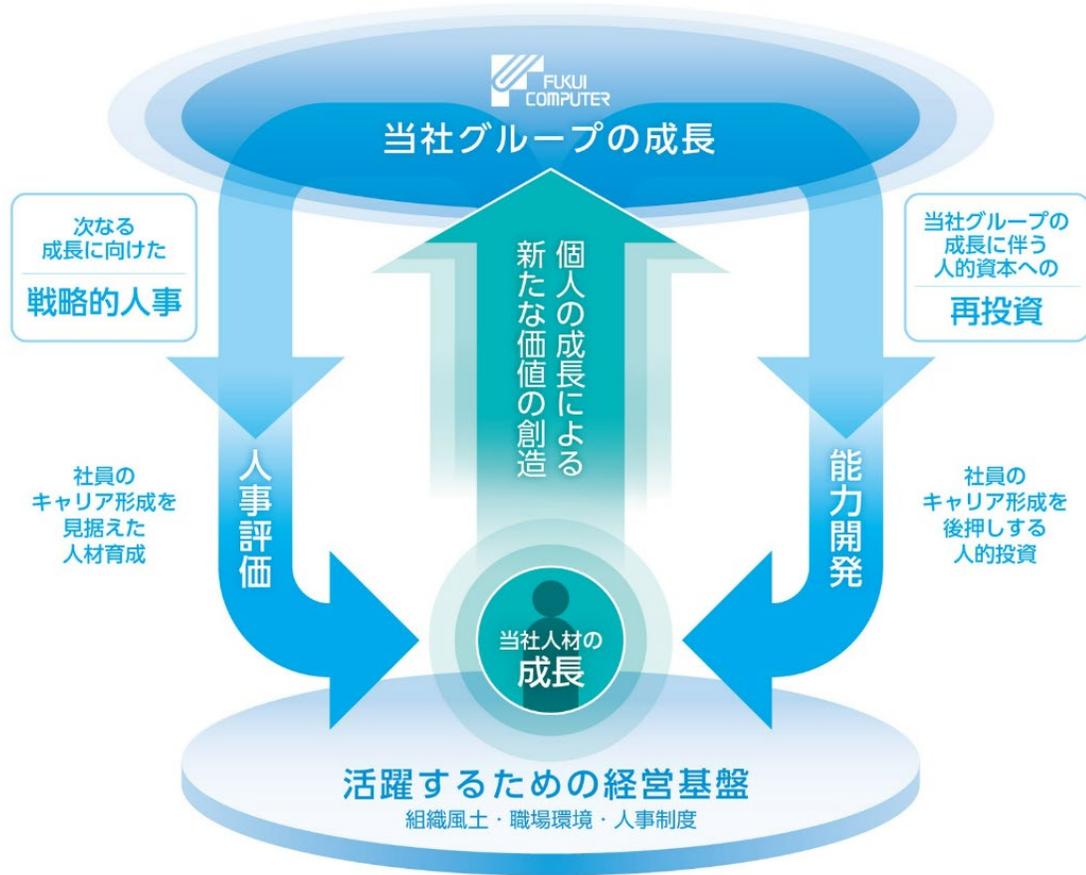
- 各種データを分析・可視化し、開発や販売戦略に結び付けることで、新たなソリューションの創出を目指します。
- ソリューションの機能、提供スピードの向上を図ります。



ユーザーへ最適な製品を提供するための営業機能の効率化



「個」の成長が「組織」の成長を促す好循環型のスパイラル



- 当社グループにとって人的資本は持続的な競争優位性の源泉です。
- 人事施策については求める人物像を明確にしたうえで制度構築し、経営戦略と結び付けながら積極的な投資を行います。

個人の成長がグループの成長につながる

- 本中期経営計画を進めるための、人的資本への投資とその効果測定に取り組みます。
- 業務プロセスや当社グループが提供する価値を改善するための人的資本投資を行います。
- 投資の対象は、経営及び管理を主としディレクションを行うマネジメント人材、事業等の企画・実現を主とするイノベティブ人材、実務を推進するバリュー人材/グロース人材の3つに区分し、それぞれに応じた取り組みを行います。

	人材要件	取組内容
マネジメント人材	変わりゆく業務プロセス・事業のバリューの中で現状認識を行いながら、各セクションにおいて戦略的にリソースを配賦し、自組織のみならず、全社的な成果に結びつけるよう意識し、ディレクションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・サクセッション委員会の始動 ・マネジメント研修・評価者研修による能力開発 ・期初・期中MTGによる全社方針/KPI共有
イノベティブ人材	外部環境と当社グループが目指す将来像を踏まえ、真に求められる価値提供のために変革を推進し、実現するための事業デザインを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・社外トレーニー ・事業起案 ・FIT & GAP
バリュー人材 グロース人材	マネジメントの下で、当社グループのミッションステートメントに則り、着実な企業価値向上に資するよう業務に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンホールMTG ・福利厚生改善

- ・採用強化
- ・社内表彰
- ・組織診断
- ・能力開発

他

売上

FY2023
138億円



FY2027
175億円

営業利益

FY2023
55億円



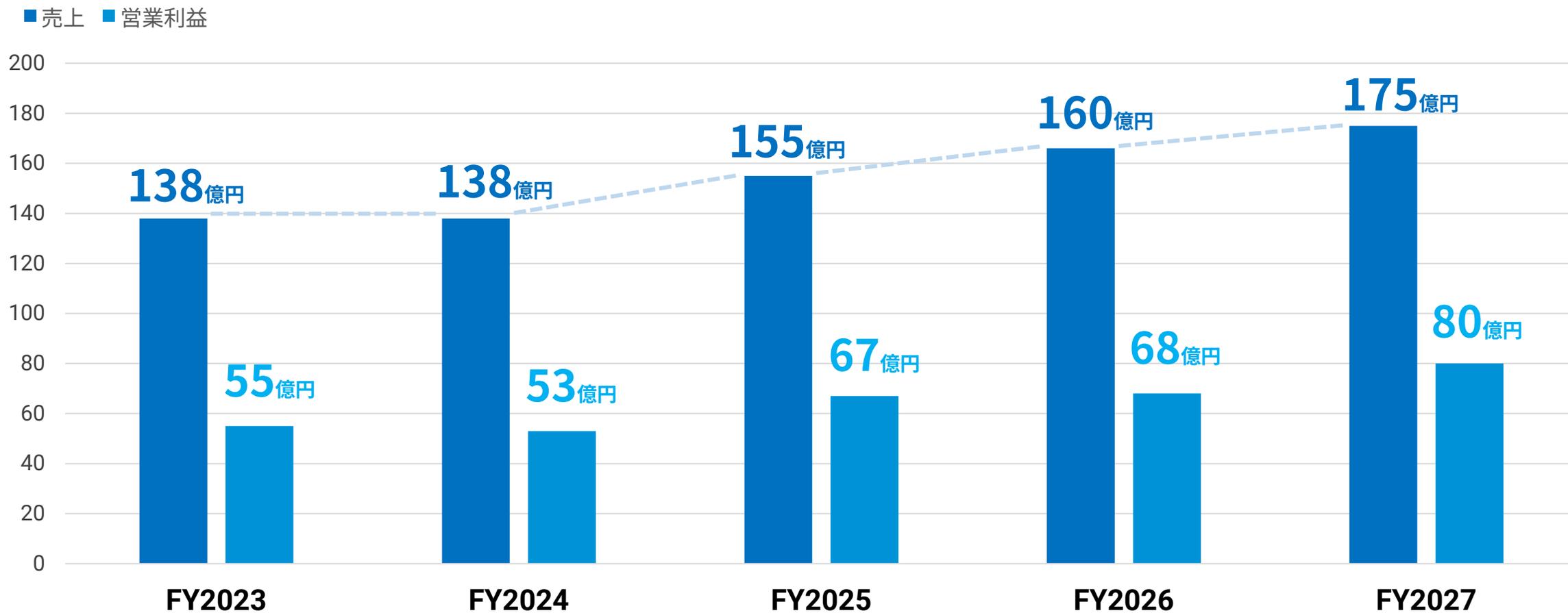
FY2027
80億円

ROE

FY2027
15%以上

株主配当

配当性向35%以上



事業投資枠

成長

新たな事業創出のために重点取組やデータ戦略実現に向け、事業への投資および積極的な人的投資を行ってまいります。

イノベーション
(R&D)

新しい製品やサービスの開発を行いイノベーションの創出や、将来的な技術開発や応用研究の基盤を築きます。

維持更新

設備メンテナンス費用等

株主還元

配当性向 **35%**以上

今後3年間の投資枠

FY2025 - FY2027

70億円

今後3年間の配当合計額

FY2025 - FY2027

50億円